

# 北海道若者活躍プロジェクト活動報告

令和3年11月発行

【発行者】室蘭工業大学 北海道若者活躍プロジェクト事務局 TEL. 0143-46-5950 E-mail waka@mmm.muoran-it.ac.jp

## 地域教育ワーキンググループを開催

令和3年9月28日(火)に、北海道若者活躍プロジェクト地域教育ワーキンググループ(以下「WG」)をオンラインにて開催しました。

WGは、本プロジェクト会員の教育機関6校、金融機関2行、企業5社で構成され、COC+で構築した「地域志向人材育成プログラム」の実施に関すること、同プログラムの修了者が利用できる「道内就職優遇制度」の利用拡大方策を中心に検討することとなっています。

WGでは、「道内就職優遇制度の現状と今後」について、室蘭工業大学の永野学長補佐から説明があり、学生の利用が少ない理由と利用を増やす方策について意見交換を行いました。また、「地域PBL発表交流会」の実施計画について、永野学長補佐から提案があり、11月7日(日)にオンラインにて開催することとなりました。

同会は、教育機関が道内企業や道内コミュニティと連携実施してきた活動とその成果を発信することを目的として令和元年度から開催しており、参加する学校の学生同士、学生と企業との交流を図っています。



地域PBL発表交流会のイメージ

## 北海道若者活躍プロジェクト推進協議会を開催

令和3年10月25日(月)に、北海道大学学術交流会館において、北海道若者活躍プロジェクト推進協議会を開催しました。

本推進協議会は、同プロジェクト会員約150機関のうち産学官金の主要な関係者で構成され、当日は21機関が出席しました。

会議では、「若者に選ばれる企業に向けての推進方策」と題して、北海道商工会議所連合会の佐藤氏から説明後、他の経済団体等と意見交換がありました。

また、「地域教育ワーキンググループの検討状況」について、室蘭工業大学の永野学長補佐から報告があり、意見交換の結果、今後同ワーキンググループに北海道庁が参画することについて、北海道庁と室蘭工業大学が中心に相談することとなりました。

その後、各拠点の活動状況について北海道庁、大学・高専から報告があり、各拠点の情報共有、意見交換が行われました。各拠点は、地域の企業や産業団体、振興局及び市町村等と連携した体制を構築しており、引き続き、雇用創出・若者定着を推進するために、各地域の特色を活かした事業を検討・実施していくこととなります。



会議を進行する北海道庁(笠井課長)



説明する北海道商工会議所連合会(佐藤氏)



意見交換の様子  
(発言者: 函館工業高等専門学校 小林副校長)